

いちのみやの 社会福祉

2007

No.8
9月号

発行 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会

福祉のまちづくり



全国ボランティアフェスティバルあいち・なごやキャラバン隊 in セタまつり

もくじ

- ・平成18年度 事業報告2
- ・平成18年度 決算報告3
- ・平成19年度 会員加入状況・善意の寄付金4
- ・赤い羽根共同募金にご協力を5
- ・心配ごと相談・里親ボランティア・
短冊に願いを込めて6
- ・障害者スポーツ大会・
おもちゃ図書館7
- ・第19回福祉とボランティア活動展8・9
- ・催しもののご案内10
- ・ヘルパーだより11
- ・ボランティア体験学習12
- ・災害ボランティア支援本部13
- ・編集ボランティアのページ14・15
- ・全国ボランティアフェスティバル16

平成18年度 主な事業報告

ふれあいのまちづくり推進事業

○会員会費等を財源として、支会組織の充実強化並びに地域福祉事業を推進しました。

ボランティアセンター活動事業

○地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深め、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を密にし、社会福祉の増進を図るため、ボランティアセンター事業を推進しました。

・登録者数 本部 194グループ (8,783名) 個人 133名
尾西支部 33グループ (752名) 個人 118名
木曾川支部 34グループ (727名) 個人 46名

・市民啓発事業として、福祉フェスティバル「みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”」を開催しました。延べ6,500名参加。

共同募金配分金事業

- 老人福祉活動事業 100歳以上の高齢者へ長寿祝いを贈り、また敬老の日等行事に協力し、助成をしました。
- 障害児・者福祉活動事業 各障害児・者団体の行事等に協力し、助成をしました。
- 児童・青少年福祉活動事業 福祉実践教室の開催、児童・青少年福祉活動に協力し、助成をしました。
- 母子・父子福祉活動事業 母子育成事業等に協力し、助成をしました。
- 福祉育成・援助活動事業 低所得者階層への援助及び広報誌を発行し、市民福祉啓発に努めました。
- ボランティア活動育成事業 ボランティアの地区活動推進及び登録ボランティアグループに助成をしました。
- 歳末たすけあい配分金事業 ひとり暮らし老人へ慰問を行い激励しました。

居宅介護等事業

○訪問介護員が介護保険法及び障害者自立支援法に基づく、居宅介護サービスの提供及び一宮市から受託した介護等事業を実施しました。

・サービス提供回数

	本部	尾西支部	木曾川支部
指定訪問介護事業（介護保険事業）	45,594回	17,970回	16,553回
指定居宅介護事業（障害福祉サービス事業）	14,016回	1,599回	4,609回
難病ホームヘルパー派遣等事業	180回	—	—
軽度生活支援事業	7,025回	769回	434回

(延べ回数)

居宅介護支援事業

○介護支援専門員が介護保険法に基づく適正な居宅介護支援を行いました。

	本部	尾西支部	木曾川支部
介護認定調査	385件	197件	130件
ケアプラン作成	3,187件	1,733件	1,229件
介護予防ケアプラン作成	487件	324件	119件

(延べ件数)

地域福祉サービス利用援助事業

○自らの判断で適切な福祉サービスを受けることが困難な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活が送れるように福祉サービスの利用援助を行いました。

地域福祉サービスセンター事業

○在宅の要介護者及びその家族等を対象に、福祉に関する相談に応じ、適切な福祉サービスが提供されるよう総合的な連絡・調整を行い援助しました。

基金運営事業

○基金の趣意啓蒙を行い基金の造成に努め、その利息及び寄付金にて、歳末慰問援助事業を実施しました。

平成18年度 一宮市社会福祉協議会一般会計決算報告

一宮市社会福祉協議会では、去る5月18日（金）に理事会、5月29日（火）に評議員会を開催し、平成18年度事業報告及び決算について認定、承認を受けました。

地域福祉の推進と在宅福祉サービスの充実を基本方針として実施することができました。ここに市民の皆様、関係各位のご協力を厚くお礼申し上げますとともに、決算報告をいたします。

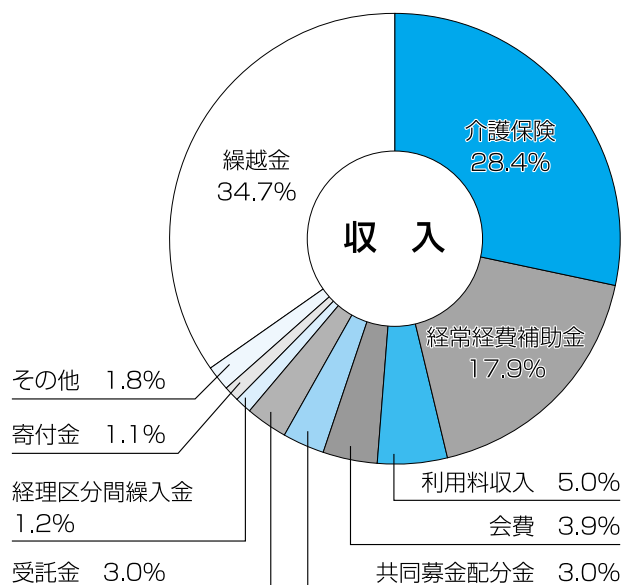
なお、詳細につきましては本部事務所で閲覧できます。

収入決算額
1,260,297,244円

収入

(単位：円)

介護保険	357,129,804
経常経費補助金	225,210,677
利用料収入	63,571,289
会費	49,197,650
共同募金配分金	38,320,448
受託金	37,286,668
経理区分間繰入金	15,523,494
寄付金	14,131,275
その他	23,145,499
繰越金	436,780,440
合計	1,260,297,244

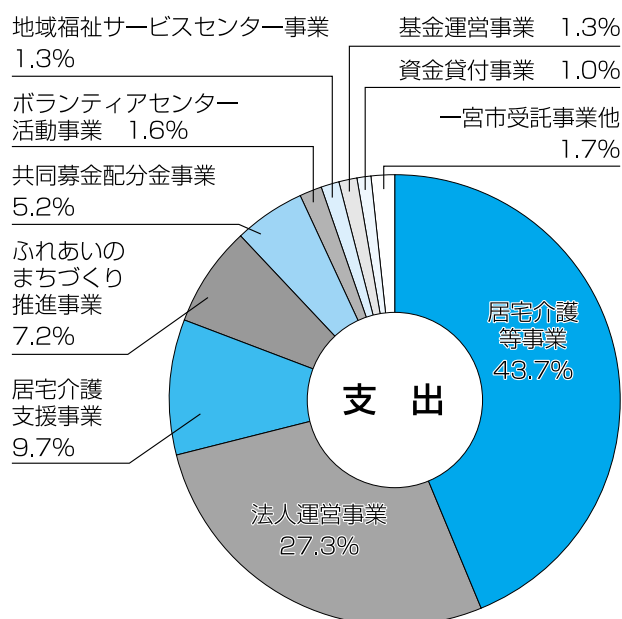


支出決算額
791,013,561円

支出

(単位：円)

居宅介護等事業	345,388,820
法人運営事業	216,101,487
居宅介護支援事業	76,486,995
ふれあいのまちづくり推進事業	56,958,072
共同募金配分金事業	40,684,401
ボランティアセンター活動事業	12,839,396
地域福祉サービスセンター事業	10,558,291
基金運営事業	10,452,918
資金貸付事業	7,816,209
一宮市受託事業他	13,726,972
合計	791,013,561



平成19年度 一宮市社会福祉協議会会員加入状況

(平成19年7月31日現在)

社会福祉協議会会員にご加入いただきありがとうございます

今年度も社会福祉協議会への会員加入をお願いしましたところ、市民の皆様方に多数のご理解とご協力を得ることができました。ご加入くださった方々、また加入促進にご協力いただいた方々に心からお礼申し上げます。市民の皆様方から頂いた会費は、高齢者・障害者・子育て・母子父子・地域福祉など社会福祉事業推進のために活用させていただいております。

なお会員加入につきましては、平成20年3月31日まで受付けておりますので、未加入の方におかれましては、社会福祉協議会の諸事業にご理解いただき、ご加入くださいますようお願いいたします。

■本 部

賛助会員：300円以上 特別会員：1,000円以上

支会名	会員数	金 額 (円)
宮 西	2,556	1,583,600
貴 船	3,283	1,363,400
神 山	3,457	1,770,720
大 志	2,042	1,378,750
向 山	2,491	1,426,500
富 士	4,024	1,448,640
葉 栗	4,617	2,308,500
西 成	10,578	4,131,410
丹 陽	8,474	4,145,500
浅 井	6,293	2,517,200
北 方	3,078	1,539,000
大 和	12,079	4,227,700
今伊勢	7,384	3,322,800
奥	3,952	1,976,000
萩 原	5,515	2,206,000
千 秋	5,364	2,413,800

合計 37,759,520円

■尾西支部

普通会員：500円以上 賛助会員：5,000円以上
法人等特別会員：10,000円以上

支会名	会員数	金 額 (円)
起	890	453,000
小信中島	2,877	1,439,500
三 条	3,366	1,791,500
大 徳	2,863	1,446,000
朝 日	3,792	1,912,500
開 明	2,269	1,152,000

合計 8,194,500円

■木曾川支部

普通会員：500円以上 賛助会員：1,000円以上
法人会員：3,000円以上

会員内訳	会員数	金 額 (円)
普通会員	2,750	1,424,000
賛助会員	102	104,000
法人会員	44	198,000

合計 1,726,000円

善意のご寄付ありがとうございました

平成19年4月1日～7月31日

(敬称略・順不同)

びさい消費生活学校	尾西緑道桜まつり実行委員会
エス・ビー建材(有) (3回)	あかつき富美京会
大東建託株式会社一宮支店 社員一同	尾西クラブ
(有)山吉商店	カラオケ喫茶 めぐの館
三桶道幸	開明小学校1, 2年生
匿名 9件	

合計 11,028,400円

赤い羽根共同募金にご協力を



平成19年度一宮市共同募金委員会目標額

54,574,000円

一宮地区目標額

34,000,000円

尾西地区目標額

16,485,000円

木曾川地区目標額

4,089,000円



皆様からお寄せいただく寄付金は地域のさまざまな福祉活動やボランティア活動の支援のために役立てられています。

10月1日（月）・7日（日）にJR尾張一宮駅前・名鉄一宮駅前・ショッピングセンター等で街頭募金活動を実施します。



10月1日 ▶ 12月31日
一宮市共同募金委員会

©中央共同募金会

今年も皆様のご協力をお願いします。



社会福祉法人一宮市社会福祉協議会会長・副会長が選任されました。

顧問	谷 一夫	副会長	日野 真澄
会長	長尾 博之	副会長	中西 勉
副会長	吉田 民雄	副会長	佐々木千賀子

悩みごと・
心配ごととは

心配ごと相談室へ

無料

「心配ごと相談」は民生児童委員が、また「法律相談」は弁護士が相談にあたります。
心配ごとをもつ人なら誰でも、どんな問題でも相談ができ、相談内容等についてはすべて秘密ですの
でお気軽にお出かけください。

日 時		会 場	
心配ごと相談	毎週火・金曜日 午後1時～4時 (第1・第3火曜日除く)	祝日の 場合は休み	思いやり会館 3階 TEL72-5052
	毎週水曜日 午後1時～3時		尾西庁舎 東館4階 TEL63-4800
	毎週水曜日 午後1時～3時		高齢者生きがいセンター TEL87-2000
法律相談	毎月第1・第3火曜日 午後1時～4時 事前に予約必要 TEL73-4363	祝日の 場合は翌週	思いやり会館 3階 TEL72-5052
	毎月第2・第4水曜日 午後1時～4時 事前に予約必要 TEL61-5511		尾西庁舎 東館4階 TEL61-5511

里親ボランティアを募集!

一宮市社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、5月のゴールデンウィーク、お盆、年末年始の年3回です。
ボランティアとしてご協力いただける方は本部 (TEL24-2940) まで



短冊に願いを 込めて

障害者、ボランティア、小・中・高校の児童生徒など多くの方々に「福祉への願い」を自由に短冊へ書いてもらい「福祉七夕笹」を作りました。

飾りつけはボランティアの方に協力してもらいました。この短冊でいっぱいになった笹は、尾西庁舎の玄関、社会福祉協議会尾西支部のロビー、尾西図書館のロビーに7月1日から10日まで設置し、多くの市民に福祉啓発しました。



平成19年度 一宮市障害者スポーツ大会を開催しました

去る、7月8日(日)「一宮市障害者スポーツ大会」が一宮市社会福祉協議会主催で、一宮市木曾川体育館にて開催しました。

一宮市身体障害者福祉団体連合会会員やそのご家族、「きそがわ福祉会」、福祉推進校を代表して黒田小学校5・6年生児童、ボランティア、そして今年度より「樫の木福祉会」の皆さんが新たに加わり、総勢約500人が元気に参加されました。

当日は、大玉リレー、車椅子競争のほかチーム対抗のストライクボードが新たに加わり、例年になく大きな歓声が会場に響き渡っていました。

清々しい汗をかいた後は、CoCo壺番屋さんよりカレーが振る舞われ、体を動かして空腹になった参加者のみなさんのお腹を満たしていました。

大会運営にあたっては、多くのボランティアさんにご協力いただきました。暑い中にもかかわらず本当にありがとうございました。



おもちゃ図書館へ遊びにおいでよ!

「おもちゃ図書館」では、木のおもちゃ、手づくりの布おもちゃ、外国製のおもちゃなど、子どもが喜ぶおもちゃで自由に楽しく遊ぶことができます。

館内はボランティアの皆さんによって運営されており、温かく迎えてもらえますよ。

ぜひ、親子で遊びに来てくださいね。

おもちゃ図書館は、「おもちゃの城」と「なかよし」の2館ありますので気軽にご利用ください。

利用できる方 小学校入学前のすべての子ども（保護者同伴） 利用料 無料

おもちゃの城



開館日時 毎週火・水・金曜日
毎月第2・第4土曜日（障害児対象）
いずれも午前10時～午後2時

場 所 一宮市浅井町前野字西藪34
（ふれあいセンターめぐみ内）
TEL52-0801

なかよし



開館日時 毎週月・木・金曜日
毎月第1・第3土曜日（障害児対象）
いずれも午前10時～午後2時

場 所 一宮市丹陽町重吉字北屋敷380
（ふれあいセンターなごみ内）
TEL76-1260

*祝日および年末年始は休館です。

*おもちゃ図書館では、運営ボランティアを募集しています。

詳細は本部 [TEL24-2940] 又は、各おもちゃ図書館へお尋ねください。

入場無料

ビンゴゲーム

に

ティア活動展

なごや「西尾張ブロックフェスティバル」と同時開催

23日(日) 10:00~15:30

ーツ文化センター
3F・4F

1-2-30 (真清田神社西)



模擬店

ふれあいの輪を
ひろげよう!!



2階及び3階

●体験コーナー

手話・点訳・朗読・車いす・高齢者擬似・
障害者パソコンを体験しましょう。

3階

●ふれあいバザー

障害者のみなさんが作った製品、ボランティア
の方々が持ち寄った手芸品や不用品の即売会

●行政・団体活動紹介展

4階

●福祉推進校、児童施設・団体 活動紹介展

●ボランティアグループ活動紹介展

●ぬりえ受付

●風船つり

●輪投げ

第19回 みんなと一緒に

福祉とボラン

第16回 全国ボランティアフェスティバルあいち・

- と き／平成19年9月
- ところ／一宮スポ
(1F・2F・

一宮市真清田

先着入場者
500人
粗品進呈!

クイズラリーに ちょうせん!

会場内の10カ所でクイズに答えて下さい。

☆参加者全員にジュースをおわたします。8問以上正解の方には次のおたのしみがあります。

ビンゴ
ゲーム

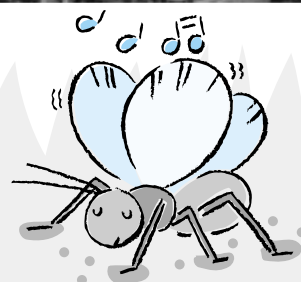
風船つり

輪投げ

のいずれかに参加できます。



ふれあいバザー



1階

- 全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや西尾張ブロックふれあい広場
 - ステージコーナー 10:15~
 - 模擬店コーナー
 - 郷土特産品コーナー
 - キッズコーナー
 - 活動紹介コーナー
 - ふれあい餅つき大会 14:30~

2階

- 全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや西尾張ブロック分科会
 - 3分科会(参加料1,000円) 9:30~
- 福祉施設・福祉団体活動紹介展
- ビンゴゲーム 14:30~

催しもののご案内

「きそがわボランティア フェスティバル2007」

～コムネックス
みづほ文化祭と同時開催～

と き：11月3日（祝）午前10時～午後3時
ところ：一宮市高齢者生きがいセンター
（一宮市木曾川町黒田字西沼51）
主 催：一宮市木曾川ボランティア連絡協議会
（14団体）
内 容：ボランティアグループの活動体験や
高齢者疑似体験
和太鼓・マジック・フラメンコ・大正
琴ミニ公演開催
手作り品バザー、きそがわ作業所バザー
コーナー、介護用品展示コーナー、食
生活改善協議会模擬店、昔あそびコー
ナー、CoCo一番屋カレー販売、ア
ートバルーン先着200名プレゼントなど

「福祉のつどい」

と き：11月11日（日）午前10時～午後2時
ところ：尾西商工会館、駐車場
（一宮市小信中島字川南36）
主 催：一宮市尾西ボランティア連絡会
内 容：ボランティア活動展示
体験コーナー
模擬店コーナー
ボランティアグループによる演芸と交流



「かしの木 フェスティバル」

～つなごう てとて
ひろげよう みんなのわ～

と き：11月4日（日）午前10時～午後2時
ところ：富田山ひろば（尾西グリーンプラザ北）
主 催：榎の木福祉会、かしの木の会
内 容：各種団体等のステージ
抽選会、模擬店、バザー
フリーマーケット

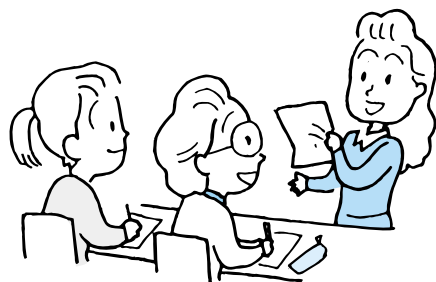


傾聴講演会 「対話のすすめ」

講師 NPOホールファミリーケア協会理事
鈴木絹江氏

と き：11月11日（日）午後1時10分～3時30分
ところ：「萩の里」萩原老人福祉センター
2階大ホール
（萩原町東宮重字連原36-1）
連絡先：傾聴ボランティア「みみの木」
早川（TEL43-1490）

参加は無料です。お子様連れはご遠慮ください。



ヘルパーだより



入浴で心も身体も爽快に!



入浴は身体を清潔にするだけでなく、血行を良くしたり、新陳代謝を活発にするなど、たくさんの健康効果があります。また、精神的にも良い気分転換になります。しかし、入浴は体力を必要としますので安全に楽しく入浴できるための注意ポイントを紹介します。

○浴室・浴槽の安全の為の工夫

1. 手すりを付ける
出入口や浴槽付近にご本人に合わせた位置に設置します。
2. 滑り止めマット
特に浴槽の中にあると安心です。
3. バスボード（腰かけ板）・踏み台
浴槽が深い場合、腰かけてから移動すると、一人でも入浴が可能となります。



○入浴前は

1. 体調に変化はないですか
表情、顔色、体温、お腹の調子等を確認しましょう。
いつもと違う場合は体を拭いたり、足を洗う程度にして様子を見ましょう。
2. 食事後30分から1時間たってから入りましょう。また、空腹時は避けましょう。

○入浴の時は

1. 湯の温度は40℃前後、湯量は少なめに
やや熱めのお湯を好まれる方もありますが、お年寄りでは体温が低くなっているので身体に刺激があると言われるます。
2. 浴室・脱衣所は22～24℃位に暖かくしておく。(冬期)
3. お湯につかる時間は5～10分程度にする。
心臓に負担がかからないようにします。
4. 適度な換気をする。
5. 時々、声をかけるなど様子を見ます。



○入浴後は

1. 湯冷めをしないように体を拭いて、お茶やミルクなど水分補給をしましょう。

ひとり暮らしのAさんの場合

ヘルパーは週に1回家事援助に訪問しています。浴室の掃除もしますが、最近、浴室を使用していない様です。ご本人に伺ってみたら、「一人で入るのに不安になったから入ってない」とのこと。

早速、ケアマネジャーへ連絡。ケアプランを見直し、手すりや椅子が設置されて、ヘルパーに入浴介助を依頼され安心して入浴されています。

ヘルパーは安全に入浴して頂くために、体調の変化やご本人の意思を尊重しながら、少しでも入浴が楽しい時間となるよう心がけております。



ひと夏の思い出...

出会い
ふれあい

この夏、市内の小・中学生・高校生が福祉施設でのボランティア体験に参加しました。

連日の猛暑の中、汗びしょりになっての作業の手伝いや、お年寄りや障害者とのふれあいを通じて、新たな発見、感動が生まれました。

ボランティア体験!!



バースデーカード贈呈（朝日荘）



体験歩行（盲導犬センター）



おもちゃ図書館（なかよし）



後片付け（一宮苑）



将棋で交流（萩の里）



折り紙てほどき（サンリバー）

特集 災害ボランティア支援本部

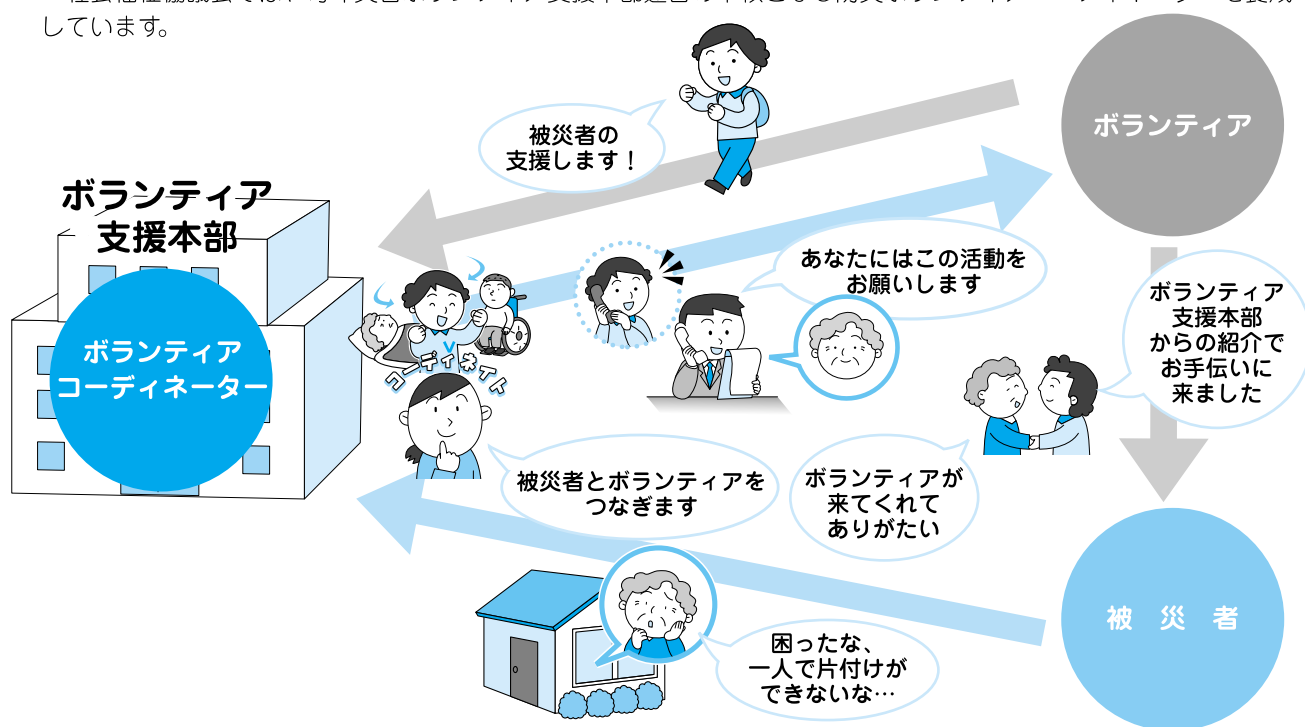
平成7年の阪神淡路大震災、平成16年の中越地震、新潟や福井での水害など、大規模な自然災害が発生した時、全国から集まった災害ボランティアは、その復興に大きな力をもたらしました。

災害発生後、住み慣れた地域での暮らしの復興のため「何かしたい」という思いで集まるボランティアと、助けを必要としている人をつないでいくのが災害ボランティア支援本部です。東海沖地震などの自然災害に備え、私たちは、今からどんなことが出来るのでしょうか？いざという時のために、今回は災害ボランティア支援本部について、一緒に考えてみましょう。

災害ボランティア支援本部で行うことは？

被災後、被災状況に応じて開設される災害ボランティア支援本部（一宮市・一宮市社会福祉協議会）では皆さまのご協力のもと、主には活動して下さるボランティアと、助けを必要としている人をつないでいきます。被災者を支えるボランティアの温かな気持ちは、復興支援の大きな力になることでしょう。

社会福祉協議会では、毎年災害ボランティア支援本部運営の中核となる防災ボランティアコーディネーターを養成しています。



最近多発する地震や異常気象による自然災害、私たちはいつ被災者になるかわかりません。まずは日頃から災害への備えをして自分や家族の命、地域を守っていくことが大切です。そして、復興に向けて、誰かの力が必要になった時には「災害ボランティア支援本部」があることを覚えておきましょう。

また、被災から復興までは市外からのボランティアの力のみならず地域の力も大変重要です。災害が発生した際、被災されなかった方や被災されても早期復旧にこぎつけることができた方は、ぜひ「災害ボランティア支援本部」にも力を貸してください。

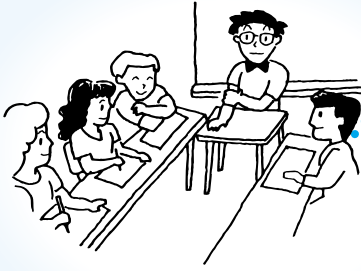
9月1日は『防災の日』です

1923年に起きた関東大震災を教訓に、災害への備えを怠らないようにとの戒めと、この時期に多い台風への心構えとの意味も含め、1960年に「防災の日」が制定されました。

いざという時に備え、避難場所や備蓄等の確認、自宅内外の点検などぜひこの機会に行ないましょう！



ちなみに、阪神・淡路大震災を通じては日本のボランティア活動が活発化したことを受けて、1月17日を「防災とボランティアの日」、この日を含む1月15日～1月21日を「防災ボランティア週間」と定められています。



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／森 勝己、築城基裕、岩下茂子、石井恵子、堀部 麗



あなたのセカンドステージをボランティア活動で豊かに!!

いま、シニアの持つ豊富な人生経験、また仕事や趣味で培った知識が、福祉ボランティアの現場で求められています。定年は新しいことを始める絶好のチャンスです。ボランティアを始めることは、単にその活動のみにとどまらず、活動を通じて、自分の世界がどんどん広がっていくことにもなります。

◆ボランティアは「自分の意思」で行うもの

「自分がやりたいからやる」—「してあげる」、でも「やらされる」ものではありません。現役の時とは、ここがいちばん違うところです。あくまでも自分のできる範囲内で無理なくやればいいのです。

◆ボランティア＝「完全無償」??

もちろんお金のための活動ではないので、利益にはなりません。多少の交通費や必要経費を渡されることもあります。また、所属する会の運営のため、若干の会員制度をとっているところもあります。

◆「できること」と「したいこと」

自分の好きなこと、関心のある分野を選ぶことが、自分自身も楽しいし、それで相手に喜んでもらえたら、さらに活動が楽しくなります。長く続けるためのひとつの方法です。

◆退職前から「アイドリング」を

生き生きと活動しているシニアに聞くと、「定年前から行動を起こしたほうがいい」と言います。週末などに時間を都合し、スポット的に参加することもいいことです。アイドリングは、セカンドライフのスタートを助けます。

あなたも、さっそく行動を起こしてみませんか。

(詳しいことは、社会福祉協議会にご相談下さい)



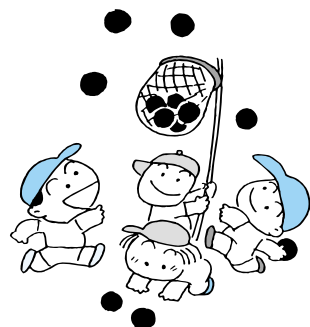
『回想法』をご存知ですか? Part2

前号では、『回想法』についてご紹介しました。しかし、『楽しかった思い出』を気軽に語り合ってみましょうと言われても、いきなり話すことはなかなか難しいですね。そこで、話のテーマを決めたり、話のきっかけとなる道具などを利用してみたいかがでしょう。

まずは、テーマを決める方法です。家族同士では、祖父母や両親や兄弟、自分の幼少や若い頃のこと。友達同士では、生まれ故郷や若い頃のこと。小学時代の遊びや若い頃に流行った歌やファッション、仕事のこと、友達のこと、子育てや家族のこと。

また、道具などを利用する方法もあります。最近では、映画やレトロなファッションなどにもみるように、大正・昭和の古き良き時代がクローズアップされています。アルバムや思い出の品物、道具について話したり、あるいは資料館やテーマパーク（時代村など）へ出向いたりするのも一つの方法です。

お互いの気持ちを思いやり、懐かしい思い出に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。



福祉施設のバザーに行ってみませんか

行 事 名	みんなで福祉バザー	第18回 コスモス祭り
会 場	アピタ木曽川店 北側駐車場	一宮市花池4丁目 彦田公園
開 催 期 日	9月17日(月)	11月25日(日)
開 催 時 間	午前9:00~午後3:00	午前10:00~午後2:30
内 容	お年寄りや障害のある人たち・子どもを支える団体や作業所が集まってバザーをします。	ステージ、リサイクルバザー、模擬店、ゲーム、フリーマーケット、近隣福祉施設販売、その他いろいろ、盛りだくさんです。
問い合わせ先	一宮市地域福祉施設合同バザー実行委員会 86-7074 (担当:木村)	社会福祉法人 コスモス福祉会 86-7074 (担当:クローバー 杉本)

*開催日時等詳細は主催施設にご確認願います



「ちょっとのぞいてみようかな・・・」つて、
気軽に遊びに来て下さいね!

アピタ木曽川店での「みんなで福祉バザー」



今年も、企画・内容が盛りだくさん!!
ぜひ、お越しください!

コスモス祭り

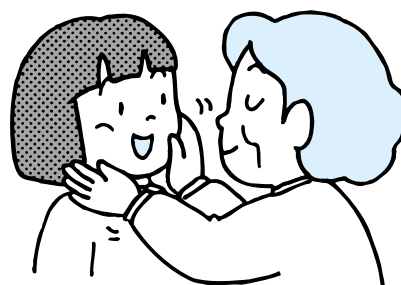
The Cinema Review of Welfare ~映画で“ふくし”を想う時間(とき)~ VOL 2

今回紹介する映画は、「1リットルの涙」

「ただ生きている」幸せ感じたい。

愛知県の豊橋市に実在していた主人公、木藤亜矢(きとうあや)さんの日記に基づき、半生を描いたノンフィクションストーリー。亜矢は中学3年の時に、手足や言葉の自由を徐々に奪われながら最後には体の運動機能を全て失くしてしまう難病「脊椎小脳変性症」と診断される。「脊椎小脳変性症」とは、小脳、脳幹、脊椎が徐々に萎縮してしまう疾患であり、原因は今もなお不明である。亜矢は地元の難関の豊橋東高校に進学するも、症状の進行とともに動きが鈍くなり、学校内での移動すら友人の手助けがなくては困難な状態に… ついに学校から転校のすすめがきてしまう。亜矢は友人らの負担の限界を知り、養護学校への転校を決意する。その時、亜矢は日記にこう記したという「私は東校を去ります。身障者という重い荷物をひとりで背負って生きていきます。なあんてことが言えるようになるには1リットルの涙が必要だった…」その後、養護学校での懸命な生活、病院と自宅と入退院の繰り返しのなかでの成長・希望・挫折・葛藤・失望…さまざまな揺れる想いを繰り返しながら、ついに亜矢は25歳と10ヶ月の人生に幕を閉じた。

亜矢さんの懸命な生き方とそれを献身的に支えるお母さん、先生、友人などの愛情に心が打たれます。毎日、“心臓の音が聞こえる幸せ”をかみしめ、限りある人生の時間を自分らしく精一杯生きていくことの喜びを感じて生きたいものです。



ぜひご参加下さい!!

第16回全国ボランティアフェスティバル あいち・なごや

愛を知り 夢を育む ボランティア

西尾張ブロックキャッチフレーズ

「おたがいさま」心の絆で ボランティア

開催日 **9月22日(土)、23日(日)**



主な内容(時間・会場など)

西尾張ブロック会場 (一宮市)	23日	■ふれあい広場 午前10時～午後3時30分 参加費 無料 会場 一宮スポーツ文化センター 1階 ボランティア活動紹介、ステージコーナー、特産品コーナー、キッズコーナー、模擬店など
	22日	■ふれあい広場 午前11時～午後9時 参加費 無料 会場 オアシス21
メイン会場(名古屋市)	23日	■ボランティアトーク(出演 城戸真亜子さん)、閉会式 午後2時～4時20分 参加費 無料 会場 名古屋国際会議場センチュリーホール
		■ふれあい広場 午前11時～午後4時 参加費 無料 会場 オアシス21

社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 本部

〒491-0847 一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL <0586> 24-2940 (代表) FAX <0586> 72-5022
ホームページ <http://www.138sk.org>

尾西支部

〒494-8601 一宮市東五城字備前12番地
(一宮市役所尾西庁舎東館4F)
TEL <0586> 63-4800
FAX <0586> 61-2970

木曾川支部

〒493-0001 一宮市木曾川町黒田字西沼51番地
(一宮市高齢者生きがいセンター内)
TEL <0586> 87-2000
FAX <0586> 86-0309

本誌は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報・点字版「バス」時刻表も配布しております。ご希望の方は本部まで